

病虫害発生予察注意報第 2 号

平成 24 年 7 月 24 日

三重県病虫害防除所

1. 対象作物：水稻
2. 対象病虫害名：斑点米カメムシ類（ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、シラホシカメムシ類、アカスジカスミカメ）
3. 発生地域：全域
4. 発生時期：7 月下旬～8 月中旬
5. 発生量：多い
6. 注意報発令の根拠
 - 1) 巡回調査（7 月第 1 週）における、畦畔イネ科雑草 20 回振りによるすくい取り調査の結果、中型種（ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、シラホシカメムシ類）の発生地点率は 40.6%（平年 31.9%）、成幼虫数は 1.4 頭（平年 1.2 頭）と、平年よりもやや多い状況です。また、アカスジカスミカメの発生地点率は 36.3%（平年 17.8%）、成虫数は 5.5 頭（平年 2.0 頭）と、平年より多くなっています。
 - 2) 一般圃場では、出穂の早い水田において、ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、カスミカメ類などの侵入が、既に確認されています。また、一部地域ではイネカメムシの多発が確認されています。
 - 3) 今年の梅雨明けは 7 月 17 日頃と、平年（7 月 21 日頃）よりやや早い状況です。さらに 1 か月予報（7 月 20 日・名古屋地方気象台発表）によると、平年と同様に晴れの日が多く、気温は平年並か平年より高い予想であり、斑点米カメムシ類の活動および増殖に好適な気象条件が続くと見込まれます。
7. 防除上の注意事項
 - 1) 薬剤防除は穂揃い期に実施しましょう。広域での一斉防除が効果的です。
 - 2) 防除後も水田への侵入が確認される場合は、穂揃い期防除の 7～10 日後に追加防除を実施してください。
 - 3) 周囲よりも出穂の早い水田では、被害が集中するので防除を徹底しましょう。
 - 4) 出穂直前および出穂後の除草は、斑点米カメムシ類を水田内へ追い込み、加害を助長するので避けましょう。やむを得ず出穂後に除草を行う場合は、水田の薬剤防除計画に合わせて行いましょう。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。